

◇ 専門部会記録

令和5年度 両沼・耶麻中学校教育研究会 第一次研究協議会 記録
期日：令和5年7月 26日（水曜日） 会場：喜多方市立第一中学校

部会名	道 徳	部会	部長名	耶麻：園部 毅（西会津中） 両沼：川島 淳（本郷中）
【研究主題】	自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を探求する道徳の学び （ <u>はどうか</u> はよいが、）			
【副主題】	自己を振り返り、よりよい生き方について考えを深めることが出来る 指導方法			
指導助言者	松井 哲子 先生			
発表者	全員			
司会者	齋藤 英子（塩川中）			
記録者	佐藤 幸枝（会北中）			

No.	参加者名	所属校	No.	参加者名	所属校
1	佐藤 幸枝	会北中	10		
2	齋藤 英子	塩川中	11		
3	鈴木 里奈	金山中	12		
4	西田 さおり	坂下中	13		
5	小坂 ひろみ	会津柳津学園中	14		
6	角田 みどり	塩原第一中	15		
7	目黒 奈津子	喜多方一中	16		
8	園部 毅	西会津中	17		
9	川島 淳	本郷中	18		

研究実践発表

・塩川中

- ・導入で健司と僕の立場どちらに賛同か。相関図にした。意見交流
- ・役割演技。15分で足りなかった。(初)セリフを考えて書く。(中)演技
過去を振り返りながら「友情」について考

・喜一中

- ・立ち止まる：人権より護の方々との授業。教員側が望み答え以上のもの
(振り下げて考えさせたい。
DVD。斜視の子がメカネザルと呼ばれる。
卒業文集～：人権を犯してしまふ。温かい、猛毒の言葉は？
「立ち止まる」からつなげたい。

・北塩原一中

- ・板書の工夫。導入：からかいなども含め、いじめはいけなさと認め
(傍観者について考える。ただ観てるからは抜け出したい。寄りそいたい。
全てこの方法でいいのか

・会化中

- ・昨年度よりも内容項目に対して発達段階にあわせて考えを深めたい
- ・プランニングシートで実践。授業構想が明確になる
- ・発問を子どもから出た考えを基として作る力をつけたい。

・会津柳津中

- ・終末～標語をつくる。ふさわしいか。悩む
- ・教材、資料から早めに離れる。交流→学びも考える時間ととる
- ・導入。保護者にもアンケートとる。Jamboard
- ・協働的な議論～理由を含めて考える、コーディネーターカ

金山中

- ・役割演技をプラスして協働的に議論、友達と接するにはどうした方がいいか
- ・「テキストマイニング」で導入 ↔ 終末比較。できる、ワードが増えた。
- ・内容が同じになるのをさけた。場面を厳選する必要ある。

坂下中

- ・根拠を明らかにすることで、これまで感じたことと照らし合わせる。
- ・P4C. ボールを持っている人のみ話とする。ルールを守り温かい雰囲気。終末で4視点についてまとめる時間確保するために、展開前段を工夫。

- ・学期、毎時間のふりかえりをする。ことで評価に活用。

- ★役割演技の取組は 4人 男女混合、題材を吟味する必要ある。なりきらせる為の声かけも必要。

- ★安田試案 - 板書から授業をつくる

① → ⑦⑧. までスムーズにいく、⑨が難しい。

⑥からまとめまでいけるか。

- ・松井先生からご指導

← 別案で確認。

- ・考えを深める。多面的に。扇の要となる道徳科から全教育活動

- ・道徳教育と道徳科の関連、→ 補充、深化、統合

- ・一人一人が自分の感じ方、考え方をのびのびと発表できる学級

- ・問題 1. 理想の実現 2. 理解不十分 3. 理想の実現への葛藤 4. 価値葛藤 (どちらをとる)

- ・効果的な「体験的な学習」

- ・効果的な場面 登場人物が葛藤、会話があまり詳しくない。授業者の明確な意図。経過が自由。

(裏面)

**研究主題 「自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を探求する道徳の学びは
どうすればよいか。」**
**本年度副主題「自己を振り返り、よりよい生き方について考えを深めることができる指導方法
の工夫」**

1 令和5年度の研究について

生徒が自分自身のものの考え方、感じ方の根拠や理由を明らかにする過程を通して、自己を見つめ、見直すことができる指導方法を研究する。

- (1) 「自己を見つめる」とは、これまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせ、考えを深めること。自分であればと、当事者になったつもりで授業を受けること。
- (2) 副主題に迫るために
 - ①対話が深まる話し合いの工夫（協働的な議論など）
 - ②書いたり発表したりする活動（言語活動）

2 授業実践

- (1) 主題名 挨拶は大事、分かっているけれど 内容項目 B－（7）礼儀
- (2) 教材名 挨拶は言葉のスキンシップ（出典：「あすを生きる2」日本文教出版）
- (3) ねらい

私が、店長さんの「“挨拶”は言葉のスキンシップだと思う」と話す言葉を聞いて、礼儀について考え、心と形が一体になった挨拶をしようとする態度を育てる。

- (4) 研究副主題との関わり 「協働的に議論させる指導の工夫」

○思考ツールによる可視化

自分の考えや気持ちをアウトプットすることで、自分自身で自分を振り返ること、また、他者の位置との比較で、多面的にも捉えることができるようにする。考える時間を短くし、他者に左右されないような発問と、場の設定をする。

○学習形態の工夫

今年度は、個人→グループ→他のグループとの交流→個人のサイクルで意見交換の形態を作る。話し合いの形態を固定することで、子ども達が授業構想の流れがわかり、見通しをもって授業に臨めるようにしたい。他のグループとの交流を取り入れ、多面的、多角的に考えを深めることと、個人に戻すことで、自己の振り返りを充実させたい。

- (5) 実践の結果

- ・始業の挨拶に込めた“やる気”をバロメーターで表した際に、やる気は高い生徒がいた。挨拶を聞いた側としては、その割合（％）の高さが意外であったが、相手にそのやる気が伝わるにはどうすればよいか、考えるよい機会となった。
- ・2年生はこの後職場体験をするので、振り返りの時間では、「職場体験の時に心のこもった返事をしたい」という感想が出た。普段の生活に置き換えて考えるには至らなかった。

3 実践の成果と課題

- (1) 成果

○グループでの話し合いでは、時間短縮のため、ホワイトボードの向きを指定せず、自分から向かって書くようにした。他のグループとの交流の時間も、長く取ることができた。

○指導計画などをノートに書き込んでいたが、プランニングシートを使ってみて、ねらいの作り方や、発問の厳選などを考えることができ、授業構想を明確にして臨むことができた。

- (2) 課題

- 中心発問をよりよいものにするためには、教師の教材の読み込みが必要であった。
- 中心発問から、終末のテーマ発問につなげるとき、子ども達の意見から提示する臨機応変さがほしい。また、どんな考えが出るか、予想の段階でもっと考えておく必要がある。

道徳授業作成プランニングシート

0

5分

20分

35分

45分

50分

教材名	挨拶は言葉のスキンシップ										
主題・内容項目	挨拶は大事、分かっているけれど・・・ B-7 礼儀										
本時のねらい 道徳的判断力 心情 実践意欲と態度 を育てる。 ・私が、店長さんの「“挨拶”は言葉のスキンシップだと思う」と話す言葉を聞いて、礼儀について考え、心と形が一体になった挨拶をしようとする態度を育てる。											
導入 ○始業の挨拶に込めた気持ち（やる気）を100%で表し、気持ちバロメーターとして黒板に提示する。（個人） ○教師の説話を聞く。											
展開前段（話し合いの方法） 個人 ペア グループ ・範読する。（CD 6分） ・職場体験に行きたくなかった理由は何か。（補助：どれが一番の理由か） ・人と話すのが苦手 ・早起きが面倒 ・5日間連続 ○店長に聞かれて答えられなかったのはどうしてか。											
予想される生徒の反応 ・お客さんのことを見ていなかった。 ・適当にその場を切り抜こう。											
展開後段 自己の考えを深めるための発問（話し合いの方法） 個人 ペア グループ ◎店長が大切だと思っていることは何か。（ 3分 5分 ） ・よいコミュニケーションを取る。 ・心のこもった挨拶をして気持ちをよくしてもらう。 ・状況に合った言葉かけをしよう。 ・大切にされていると実感する。 ①個人で考える ②グループで発表する。 ③他のグループへ出向き、共感した他者の考えにネームをはる。											
深まりを感じさせるために <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">人物を問う発問 （主人公の生き方と自分の生き方の似ているところは何か考える発問）</td> <td style="width: 25%;">資料を問う発問 （資料から学ぶことは何か） （資料を見て考えたことは何か）</td> <td style="width: 25%;">価値を問う発問 （テーマに沿った発問） （あなたが主人公だったらどうする）</td> <td style="width: 25%;">その他の発問</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>◎あなたが私なら、明日からどんな態度で職場体験に臨むか。</td> <td></td> </tr> </table>				人物を問う発問 （主人公の生き方と自分の生き方の似ているところは何か考える発問）	資料を問う発問 （資料から学ぶことは何か） （資料を見て考えたことは何か）	価値を問う発問 （テーマに沿った発問） （あなたが主人公だったらどうする）	その他の発問			◎あなたが私なら、明日からどんな態度で職場体験に臨むか。	
人物を問う発問 （主人公の生き方と自分の生き方の似ているところは何か考える発問）	資料を問う発問 （資料から学ぶことは何か） （資料を見て考えたことは何か）	価値を問う発問 （テーマに沿った発問） （あなたが主人公だったらどうする）	その他の発問								
		◎あなたが私なら、明日からどんな態度で職場体験に臨むか。									
予想される生徒の反応 ・気持ちを込めて挨拶する。 ・指示されたこと以外でも、 ・元気よく返事をする。 気付いてやるようにしたい。											
終末 ○気持ちバロメーターで、自分の気持ちの変容を見る。 ○振り返りシートに感想を記入する。											



テーマ発問の回答など

研究主題:「自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を探究する道德の学びはどうすればよいか。」

副主題 :「自己を振り返り、よりよい生き方について考えを深めることができる指導方法の工夫」

○研究実践の内容

両沼・耶麻支部、重点項目の「①問題意識をもち、自分事として考えることのできる工夫」を意識した実践を行った。西郷村教育委員会安田氏による試案(令和3年度東西しらかわ中教研道德指導部会資料より)を参考に、課題を自分事として考えられるように、教科書資料から理想的な姿を考えさせたあと、これまでの自分の行動について振り返りをさせた。理想とのギャップを感じたあと、正直な気持ちを含めた理想に近づくためにどうすればよいかということについて考えさせた。

実践Ⅰ:資料「卒業文集最後の二行」(主題:いじめを許さない心)

	学習活動(発問, 予想される生徒の反応)	指導上の留意点(発問の意図)
導入 (5分)	1 「いじめ」について考える。 発問:そもそも「いじめ」とはどんなことか。 ○言葉(暴言・陰口・悪口)○無視・シカト○暴力 ○仲間はずれ○雰囲気	○いじめとはどんな行為か全体で確認する。「いじめ」=あってはいけないこと・してはいけないこととほとんどの人が認識していることを確認する。 この時間「いじめをなくすためにどうすべきか」考えることを確認する。
展開 (40分)	2 教材「卒業文集最後の二行」を読み, 考える。 本文範読・感想を記入 個人の感想を聞きながら、内容確認 ○私:悪童と暴言。うそつき。卑怯。 ○T子:泣きもせず耐えていた。先生にも言わなかった。強い人 発問①T子さんがひどい仕打ちを受けているとき、周りの人はどうしていたのだろう。 ○何も言わなかった○見て見ぬふり 発問②T子さんが悲しい思いをしないためにはどうすればよかったのだろう。 ○相手を尊重する○相手の気持ちを考える ○傍観者にならない 3 教材から離れ、普段の生活を振り返りながら考える。 ☆みんなは傍観者になっていないですか 発問③なぜ傍観者になってしまうのか ○自分には関係ない○関わりたくない○自分も標的になるかも ○気づかない ☆もし自分がいじめられていたらどうしてほしいですか 発問④いじめをなくすために、どんな姿を目指していくべきか ○傍観者から抜け出す○いじめられている人に寄り添う・向き合う	○「私」や悪童の言動の裏にある差別や偏見をしっかり見つめさせる。 ○いじめは良くないけれど実際には動くことのできない現実を確認。 ○教材から理想的な考え方や行動を考えさせる。 ○理想的な姿と現実とのギャップを感じさせる。理想的な姿を実践することの難しさを感じさせる。 ○正直な気持ちを踏まえて、理想的な姿に近づくための手立てを考えさせる。
終末 (5分)	4 本字の学習で考えたことをまとめる。	○自分の考えの変容や、経験と結びつけながら書かせる。

テーマ: いじめをなくしていくために大切なことはなんだろうか。

④ 卒業文集最後の二行

いじめ
仲間はずれ
暴言 暴力
無視
物を隠す
差別
陰口 悪口
LINE(SNS)

後悔 あんなに
(取り返せたい)
一生もの

私 悪童 暴言 心配
→ 友達 先生に告げられ
見ている側
気持ちよくない、嫌な気持ち

いじめ
一生もの
先生に告げられ
いじめが止んだ
たまたま
↓
T子にエサをあげたから...

悪童
原因?

周りの人はT子に寄り添う(いじめを)
解決法あり
周りの人から先生へ
自分と違うものを認める
傍観者
いじめ

傍観者
自分もセリオス...
関心がたつよい
自分がいじめられて
止めてほしい...
せめて...

傍観者から抜け出す

この授業を通して、ただの傍観者にはならないように...と思った。
せめて、いじめ子の相談に乗って、みたり、担任とかに報告出来るように
実行したい。命を落させない。

自分が、T子さんのクラスメイトだったら、中々先生に言ったりいじめている人たちに直接言たりはできないと思いました。でもよりそうことならできそうなので、めんどうくさくさず、さけずによりそうていき
たいと思いました。 自分が、7、8、9年生とを探せようぜ!

今回の実践によって、理想的な姿を考えさせてから、自分自身の行動を振り返らせることで、より自分事として考えることができると感じた。終末記述を見ると、こうあるべきという理想の姿がいかにも難しいものか理解した上で、自分がすべきことを考えている生徒が多かった。教科書の資料を考えるのではなく、資料から考えさせるために有効だと感じた。今回はいじめに関する資料での実践を取り上げたが、どのような資料がこの方法にもっとも適しているか研究していく必要があると考える。

道徳科における主体的・対話的・深い学び 「考え、議論する道徳」

【道徳科の目標】

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習

課題意識を持つ

- 現状の価値の把握
- テーマ設定

多面的・多角的に考える

- 感想の交流
- 理想的な考え・行動の検討
- 具体的な考え・行動の検討

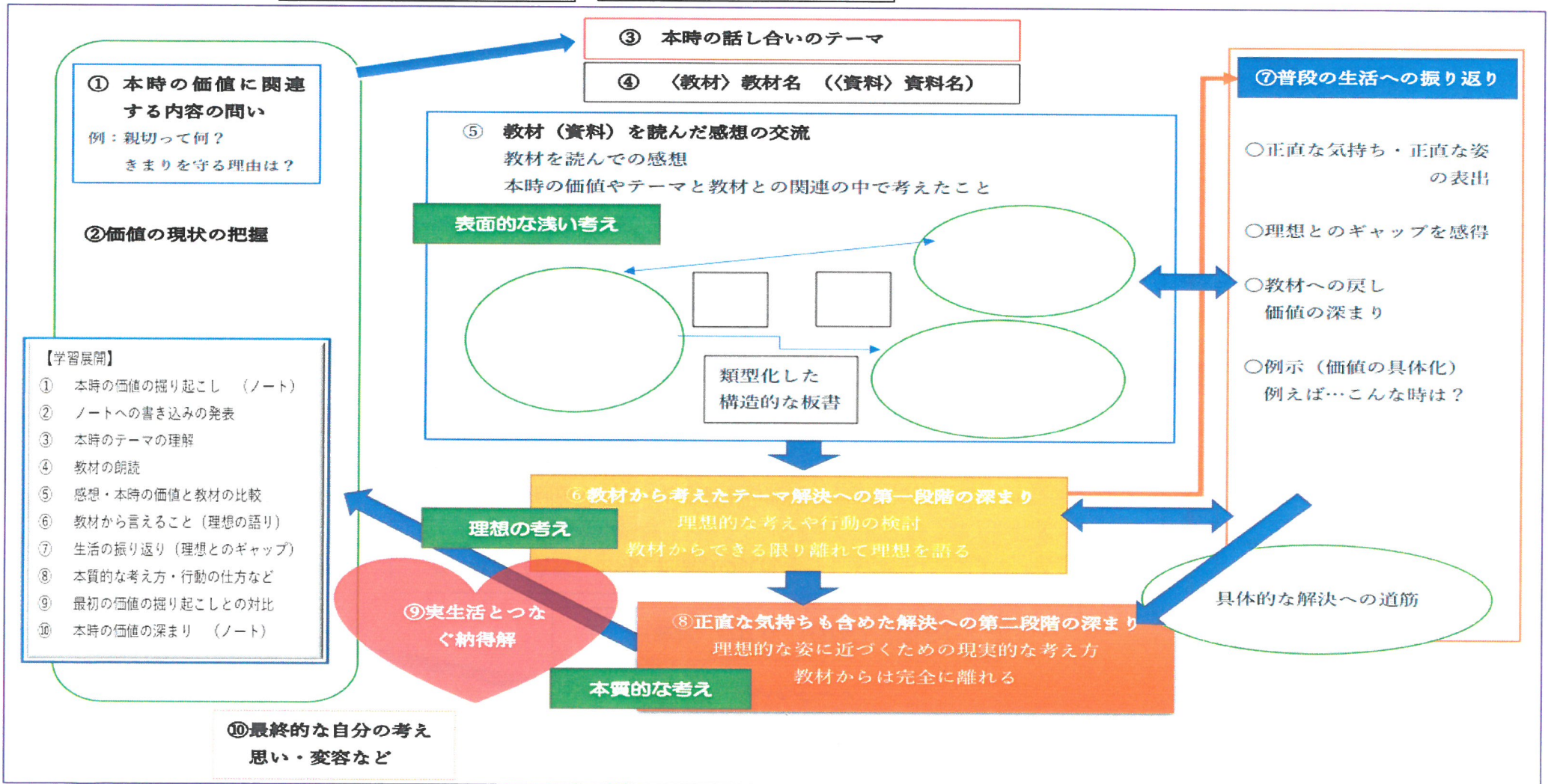
自分との関わりで考える

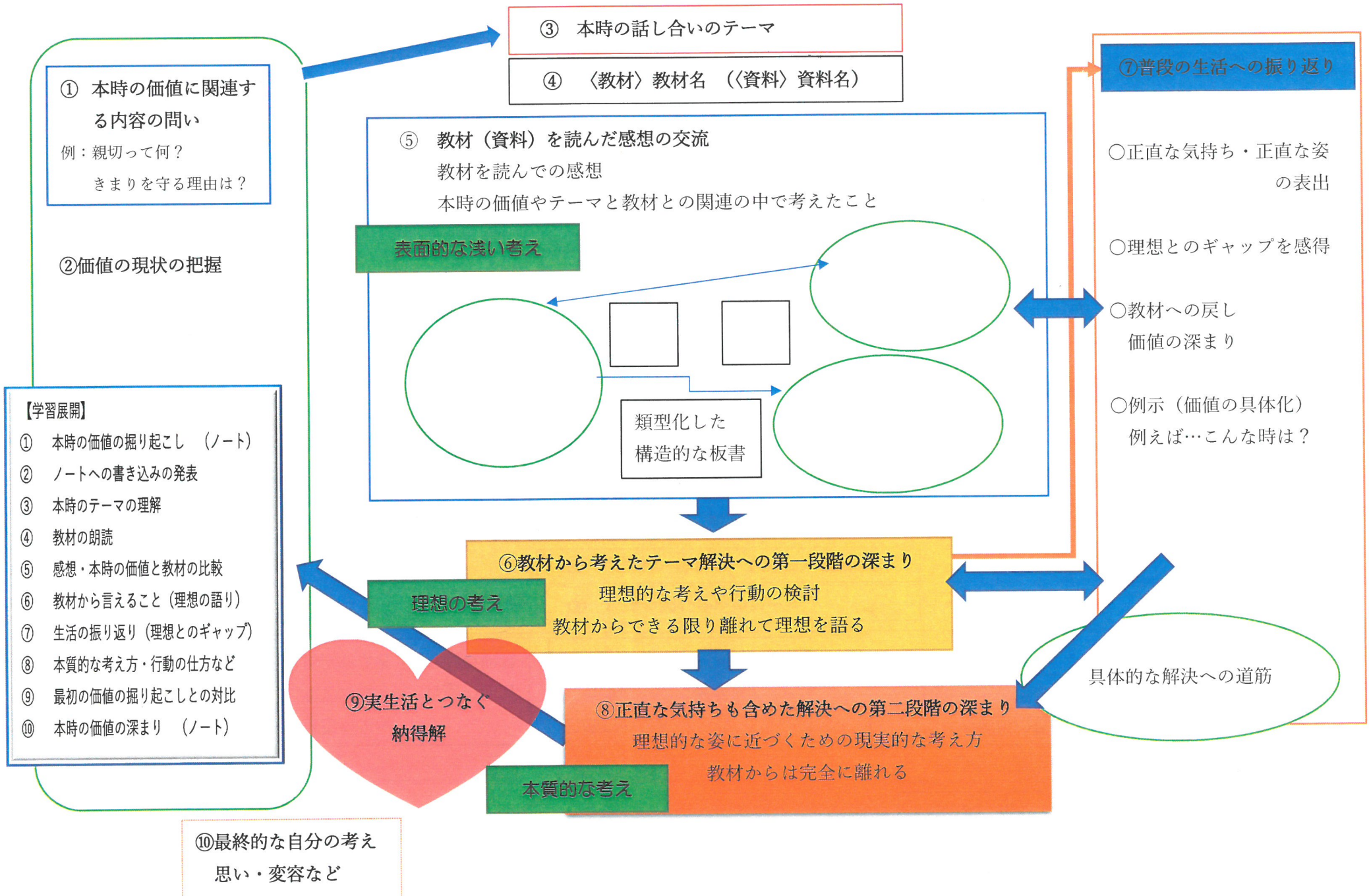
- 感想の交流
- 普段の生活の振り返り
- 具体的な考え・行動の検討

+

中：自己の（人間としての）生き方について考えを深める

- 現状の価値の把握
- 普段の生活の振り返り
- 振り返りの感想





令和5年度 両沼・耶麻中教研第一次研道德部会資料

河沼郡会津坂下町立坂下中学校

西田さおり

〃 柳津町立会津柳津学園中学校

小坂ひろみ

大沼郡金山町立金山中学校

鈴木 里奈

研究主題（令和4年度～令和6年度）

「自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を探究する道德の学びはどうすればよいか」

令和5年度研究副主題

「自己を振り返り、よりよい生き方について考えを深めることができる指導方法の工夫」

1 主題研修会より・・・

(1) 研究の方向性について

研究副主題に迫るために、「生徒が自分自身のものの考え方、感じ方の根拠や理由を明らかにする過程を通して、自己を見つめ、見直すことができる指導方法」について、支部として次の研究の方向性をもとにそれぞれの学校の実態を考慮したうえで実践した。

- ① 問題意識をもち、自分事として考えることのできる工夫
- ② 感じたり、考えたりしたことの根拠や理由を明らかにする工夫
- ③ 賛同や創意の意見を交流するような、協働的な議論とする工夫
- ④ 自己を振り返り、考えを深めることのできる工夫

(2) 各中学校の取り組みについて

- 金山中学校：視点③、④に絞って実施。

視点③ 協働的に議論させる指導の工夫として、役割演技を設定

視点④ 自分の価値観がどのように変容したかを捉えさせる終末の工夫として、ICTを活用する。

- 坂下中学校：視点②、③に絞って実施。

視点② 展開の中で事例について、公平かどうか考えるときに、その判断の理由を考える。

視点④ P4Cを取り入れた学習の指導課程

- 会津柳津学園中学校：視点①～④までを導入、展開、終末の各所で意識して実施。

2 研究の実際

- 金山中学校 1年 「近くにいたとも」B-(8)友情、信頼

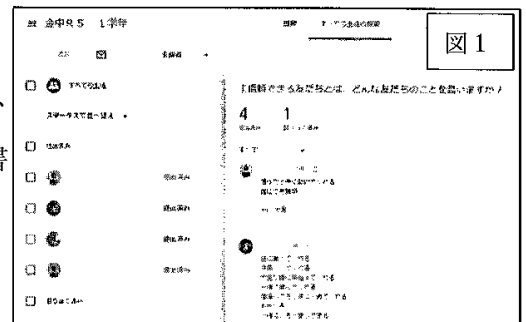
① Google classroom を活用した導入

まず生徒が現時点で考える「信頼できる友だち」について確認することから始めた。

生徒のタブレットに入っているGoogle classroomを活用。

Google classroomには、「質問」という機能があり、教師が設定した質問について答えを送信し、classroom内にいる全員に回答を共有することができる(図1)。生徒は回答後、すぐに他の生徒の回答を確認していた。

手書きで書かせることもできるが、共有する手軽さや手書きに時間がかかる生徒への配慮として本時では活用した。



② 役割演技を用いた展開

本時で使った教材は、「オサム」が「信也」の家に行く場面で話が終わる。「オサム」は家に行ってどんな話をするのか、「信也」は言われてどのように思い、会話をするのか、2人の友情を深く理解させるために役割演技を用いた。

2人1組になり、「信也」役、「オサム」役を決め、実際にどんな会話をするか考え、実際に演じさせた。4人のうち、2人が演技をし、残りの2人には演技を見て感じたことを教師から問いかけた。

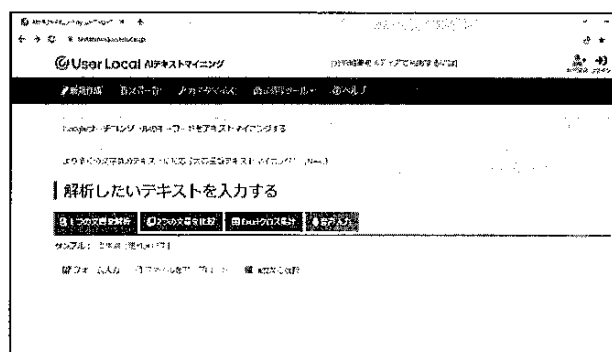
役割演技をする中で、謝罪する時の緊張感や「オサム」が勇気を振り絞ったこと、「ごめん」と謝るだけでは詳しい気持ちは伝わらないこと、言葉だけでなく、行動(握手など)を一緒にすることで互いの表情が和らいだこと等が生徒たちから感想として挙がってきた。

③ テキストマイニングで変容を見取る終末

終末では、考えの変容を見るために、導入と同じ質問を再度問いかけた。導入の考えと、終末の考えを比較するために「A I テキストマイニング」(図2)を用いた。テキストマイニングでは、文章の中で多く使われている言葉が大きくなり、視覚的に学級全体の考えを見ることができる。

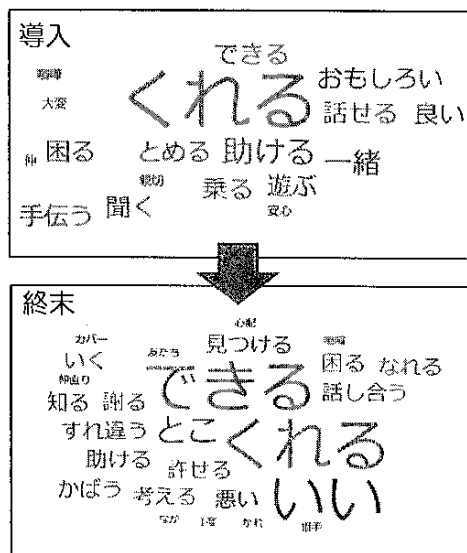
導入と終末で比較してみると、単語の数が増え、考えが広がったことが見て分かる。(図3) また、導入では「くれる」という受動的な単語が大きくなっているが、終末では「できる」と主体的な単語が同じくらい大きくなっている。自分がどのような友だちであるべきか、考えることができたと捉える。

図2



URL <https://textmining.userlocal.jp/>

図3



④ 成果と課題

ア ICTの活用について

- テキストマイニングについて、生徒たちも一目で自分たちや学級の考えが変わったことに気付くことができ、有効だったと考える。また、キーワードとして教員が扱いたい単語や、生徒が気になった考えなどに注目しやすいと感じた。人数が多い学級の場合、今回の classroom からテキストマイニングへのコピーは手間がかかってしまうので改善が必要だと思った。

イ 役割演技について

- 生徒は考えて、楽しみながら取り組んだ。事前に考えた言葉やセリフ以外にも、会話中の表情や空気感、しぐさや行動から登場人物の心情を感じ、友人間のトラブルやコミュニケーションについて考えさせることができた。
- 本時に設定した場面では、演技する内容がほとんど同じになってしまった。登場人物の心情を理解させる面では効果はあったが、生徒自身の考えを深める活動としては機能しなかった。様々な演技のパターンが考えられる場面での活動にすると、考えに深みが出ると感じた。

ウ 時間配分・振り返りの時間について

- 実践として役割演技とICTの活用の2つを1時間に詰めただけのため、どんなことを考えたか個人でまとめる時間をとることがほとんどできなかった。考えの変容をふまえた上で、本時でどんなことを考えたかまとめるところまでを1時間でできるように発問内容や活動を精選していきたい。

エ 板書について

- 本時では電子黒板と黒板を用いて授業を実施した。電子黒板に生徒の考えを写し、キーワードや手書きで考えた意見等を黒板に書く形で進めた。黒板に書くと時間を使ってしまう場合もあり、電子黒板に写すと、全体に共有するには遷すものに限度がある。生徒が自己を振り返り、考えを深めるための板書について、2学期以降検討していきたい。

① 指導過程

	学習内容活動	時間	形態	○指導上の留意点 □評価(方法)
導入	1 公平や不公平を感じるのとはどんなときか、具体的に考える。	3	全体	○公平や不公平を感じるのとはどんなときかを押さえて価値についての方向づけをする。
展開	2 教材「公平と不公平」を読み、考える。 (1) 事例A～Cについて、公平かどうか、その判断の理由とあわせて考えよう。 (2) (1)で考えたことを周りの人と話し合おう。 A: 年齢の違いでお年玉の額が違うことは公平か。 ・額の上では平等ではないが、年齢に対するお金の額を考えれば公平である。納得する。 ・自分もその年になれば増額してもらえるなら理解できる。 B: 障害があることによる優先入場は公平か。 ・安全上、一緒に会場に入るのは難しいために措置。 ・会場の状況によってはしかたがない。電車や飛行機に乗るときにも同様のことはある。 C: 字が上手だという理由で、班長がCさん一人にまとめをお願いすることは公平か。 ・話し合いで決めた結果ならば良いと思う。 ・それによって報酬が異なればよいが、これは不公平。 ・ほかの人は別の仕事を請け負うことで公平にする。 (3) 公平か不公平かを判断するときに、大切にしなければならぬことは何だろう。その理由を含めて考え、学級全体で話し合おう。 ・年齢や障害の有無などの正当な理由がある。 ・社会から認められている。 ・ひいきや差別がない。	2 5 5	個人 班	○3つの事例について考えるが、学級全体の話し合いでは1事例に絞ることを伝えておく。 ○話し合いは前後左右の人とバズ学習を行う。 ○「不公平」について、時代や場所(古今東西)によって変化する者か、そうでないのか。立場が逆転した場合(例えば、姉と妹双方の気持ち、自分が車いすを使用している側であったらなど)はどうするかなど、多面的・多角的に考えるためのアドバイスをする。 ○P4C(3)の時間が十分に確保できるように配慮する。
		28	全体	○判断の基準となる根拠を考えさせることにより、公平についての理解を深める。 ○P4Cの進め方 ①机を教室の端に寄せ、椅子だけで輪になって座る。 ②話し合う事例を多数決で一つ決まる。 ③コミュニティーボールを持っている人だけが話す。 ④まだ話していない人だけが話す。考えが浮かばないときなどはパスできる。
終末	4 今日の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 (1) 今日行ったこと、自分が考えたこと、友達の見解を聞いて思ったこと、自分がすべき行動や他者・社会に望むことについてまとめよう。 (2) 今日の授業の感想	5 2	一斉	○P4Cに対して、Do, Think, Feel, Wantの4視点から各自で省察(リフレクション)させて、公平・不公平についての理解を深め、公平を大切にしようとする態度を養う

② 成果と課題

- P4Cを用いたことで、ボールをもっている人だけが話せるなどのルールを守ること、温かい雰囲気の中で安心して一人ひとりが話をし、話をしっかり聞くことができた。
- 自分の考えを書いて考えたり、班で話し合う過程を経た後のP4Cだったので、自分の意見を全員がしっかりと述べることもできた。
- 「B: 障害があることによる優先入場は公平か。」がP4Cの話し合う事例となったが、発表を通して、自分の考えと違う考えを聞き、多面的・多角的に考える場となった。そのため、他者の考えをもとに自分の考えを深める機会となった。
- P4Cを行った話の内容が、「公平か不公平か」という内容になってしまい、「公平か不公平かを判断するときに大切にしなければいけないこと」という内容まで深めることができなかった。不公平だという意見に対して、「どのようにすれば公平になるのか。」という発問を前もってしておくべきだった。
- この展開でねらいを達成することが難しかった。展開の2(2)であるバズ学習を省き、終末の時間を充分確保し、終末の内容を深めることができれば、ねらいに迫ることができるのではないかと考える。

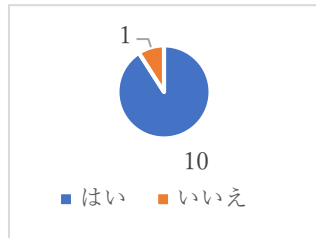
○ 会津柳津学園中学校 3年での実践

- ① 問題意識をもち、自分事として考えることのできる工夫
→→→事前のアンケート実施。そのうえで教材を読む。

※ 「14 言葉の向こうに」での実践

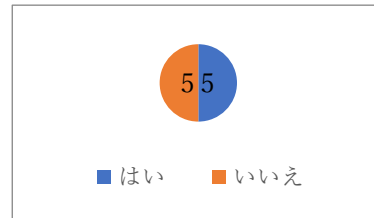
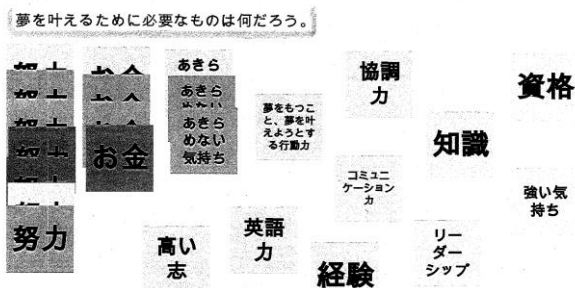
SNSについてのアンケートを実施。それを提示したうえで教材を読んだ。

- 1) SNS を利用したことがありますか？ 2) SNS に書き込みをしたことがありますか？



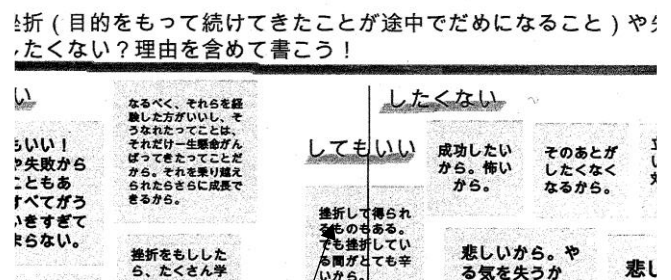
※ 「1 風に立つライオン」での実践
将来の夢について意識させるために、「夢を叶えるために必要なものは何か」について、自分事として考えさせたあと、教材文を読んだ。

(Jamboardで実施)



※ 「2 銀メダルから得たもの」での実践
問題意識をもたせるために、「挫折や失敗をしたか、したくないか」について理由を含めて自分事として考えさせたあと、教材文を読んだ。

(Jamboardで実施)

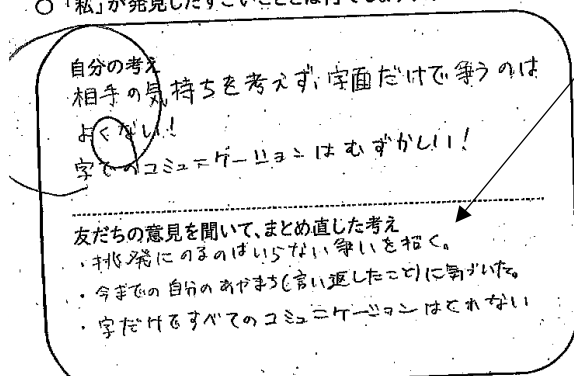


- 本時の学習が何について考えていくのかが、アンケートを確認したり、発問について考えたことにより、スムーズに教材文に入ることができた。
○ アンケート、考えたことを可視化できたので、わかりやすかったと思われる。

- ② 感じたり、考えたりしたことの根拠や理由を明らかにする工夫
③ 賛同や創意的意見を交流するような、協働的な議論とする工夫
ワークシートに書く際、自分の考えについて、その根拠、理由がはっきりと書けるものを準備した。
さらに、その自分の考えを他と交流し、友達の意見を聞いて、まとめ直した考えを書くスペースを作成した。(交流してあなたの意見はどうなったかも含めて書けるようにした。)

※ 「14 言葉の向こうに」のワークシートより

○ 「私」が発見したすごいこととは何でしょうか？



④ 交流して、あなたの意見はどうなりましたか？



私 (加奈子)

- ☑ 意見に自信がもてた！
☐ 付けたし等をしてよりよくなった！
☐ 意見が変わった！違うものになった！
☐ わからなくなってきた...

※「5 卒業文集最後の二行」のワークシートより

○ いじめをなくすために、いじめを生まない、許さないためにはどんなことが大切だろう？

自分の考え
・相手を認める心
・違いを理解する気持ち。
友だちの意見を聞いて、まとめ直した考え
・1人1人を理解する気持ち。
・いじめのもとになることをしない、行わない

相談
いじめをなくす
気持ちを知る

自分の考え
・自分の考え
気持ちだけで
行わない

交流して、あなたの意見は
どうなりましたか？

- ☒ 意見に自信がもてた！
☒ 付けたし等をしてよりよくなった！
☐ 意見が変わった！違うものになった！
☐ わからなくなってきた…

- 自分の考えを、理由を含めて書くことで自信をもつことができていた。交流する際、ワークシートと筆記用具を持参し、積極的に意見を交換し合うことができた。
- 自分の考えに、友達の考えなどを書き加え、さらに自分の考えと比較したり、同感だと納得し合ったりして、自分の考えをさらに深めることができた。
- なかなか、自分の考えを言葉で表現することができず、交流により自分の意見を書く、という様子が見られた。交流する際のルールについてははっきりとさせるべきであった。
- どう考えても、それは？（ウケをねらったり、少しおかしい？と思われる意見）ということを言う生徒に対して、どう受け止めていいのかわからないときがあった。

④ 自己を振り返り、考えを深めることのできる工夫

終末において、本時の振り返りとして、「今日の学び」と称し、標語を作成した。

本時に捉えることができた道徳的価値を意識した標語となるように心がけた。標語については、教室に掲示し、蓄積している。

道徳④ 「銀メダルから得たもの」からの学び

道徳② 「言葉の向こうに」からの学び

2023年4月28日

2023年5月

オリンピック四連覇を逃し、涙した吉田沙保里選手。「銀メダルでよかった」と話す姿から、高い目標をめざすことについて考えました。目標に向かってあきらめずに努力することの大切さに打ち勝つ強い意志の重要性を感じることができたでしょうか……？

サッカーのA選手のファンサイトに書きこんだ相手と言争ってしまふ「私」は、それを見ていたほかの人の指摘で大切なことに気づく。

自分の思いや考えを伝えるときに、大切なことって何だろうか……？

目標達成には 努力！	挫折しても 乗り越えよう！	盛気挫折して だくさん！	振出挫折や失敗に 切りつらう！	再前挫折を折 歩向く！	糸島カブセ！	相手のね 立場と気持ちを 考えて	ネットでも 相手の気持ちを 一番に！	SNS コミュニケーション 考えて！	ちよつと待て 言い返す気持ち がマンしよう	その言葉 立場を変えて 考えて！	SNS トラブルにまきこまれな いよう気をつけて使おう
真立挫 のち折	壁挫 を折	大継失	が次失 んに敗	強悔挫 いし折、 気さ、生		SNS 誹 ス謗 ルハ	手 頭より 言い	悪 プル ロハ	楽 よ S S	暴言は 無視して 通報	

- 本時のねらいをもとに、標語という短い文字数で自分の受け止めた学びをまとめることができているので、本時のねらいが達成できたかどうかを確認できる。
- 今日の学びで標語を作った終わる、というのがパターン化している。それがいいか悪いかは不明である。ただしやはり、ウケをねらう生徒がいるので、標語の掲示についてはよく考慮すべきである。
- 交流に時間を取りすぎるが多かったので、学びをじっくりと考える時間を確保することができなかった。時間配分を考えたい。

3 道徳教育の工夫について

○ 坂下中学校

(1) ローテーション道徳

年間の授業を学年の先生で担当を決め、授業を行う。

＜1学年ローテーション道徳について＞

荒川、金道、智子、加藤、西田、押部、東先生でローテーションします。
すみませんが勝手に割り振りました。(お互いの話し合いで変更願います。)

	荒川	金道	智子	加藤	西田	押部	東
1 サッカーの漫画を描きたい	1						
2 挫折から希望へ		1					
3 人のフリみて			1				
4 「愛情貯金」はじめませんか				1			
5 さかなのなみだ						1	
6 近くいた友							1
7 トマトとメロン			2				
8 ばあば	2						
9 ふれあい直売所		2					
10 あったほうがいい?				2			
11 疾走、自転車ライダー					2		
12 花火に込めた平和への願い						2	
13 毎日の帰り							2
14 私らしさって?	3						
15 わかで競走		3					
16 震災を乗り越えて			3				

時数	予定日	荒川	金道	智子	東	加藤	西田	押部
1	4月11日	学級掲示						
2	4月18日	オリエンテーション						
3	4月25日		1-10	1-20		1-30	1-40	1-50
4	5月2日 (5月10日)	1-10	1-20		1-30	1-40	1-50	
5	5月9日	1-20		1-30	1-40	1-50		1-10
6	5月16日		1-30	1-40	1-50		1-10	1-20
7	5月23日	1-40	1-50		1-10	1-20		
8	5月30日	1-50		1-10	1-20		1-30	
9	6月6日		1-10	1-20		1-30	1-40	
10	6月13日			1-30	1-40	1-50		1-10
11	6月20日				1-10	1-20		
12	6月27日							
13	7月4日							
14	7月11日							
15	7月18日							
16	8月29日							

(2) 評価のための資料

ア 自己評価シート 生徒が4月と学期の最後にシートに記入する。

1年 2組 金道 氏

【あいづっこ宣言】

1 人をいたわります

2 ありがとう、ごめんなさいを言います

3 がまんをします

4 単独なふるまいをしません

5 会話を円滑に上を敬います

6 夢に向かってがんばります

やっとならぬ やらねばならぬ
ならぬことは ならぬものです

1年 2組 金道 氏

★自己評価シート★

【あいづっこ宣言】

1 人をいたわります

2 ありがとう、ごめんなさいを言います

3 がまんをします

4 単独なふるまいをしません

5 会話を円滑に上を敬います

6 夢に向かってがんばります

やっとならぬ やらねばならぬ
ならぬことは ならぬものです

1年 2組 金道 氏

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1 人をいたわります	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 ありがとう、ごめんなさいを言います	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 がまんをします	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 単独なふるまいをしません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 会話を円滑に上を敬います	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 夢に向かってがんばります	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 やっとならぬ やらねばならぬ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 ならぬことは ならぬものです	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1 人をいたわります

2 ありがとう、ごめんなさいを言います

3 がまんをします

4 単独なふるまいをしません

5 会話を円滑に上を敬います

6 夢に向かってがんばります

やっとならぬ やらねばならぬ
ならぬことは ならぬものです

1年 2組 金道 氏

イ 道徳振り返りカード 生徒が毎時間の授業の感想を記入する。

道徳のふりかえりカード

NO. 1

1年(5)組(12)番 氏名

月日	教材名	感想
4/26	さかなのなみだ	今日の授業、いじめは、やっとならぬことを考えたから、これから、自分でもいじめを差別をしない。そうすれば、みんなが考えにいて、いじめを減らすことができる。
5/10	愛情貯金をはじめませんか	あいさつの大切さなどがわかった。これからは、自分から、進んで、挨拶をあいさつをしていきたいと思います。
5/19	富士山から見た地球	みんなが公平になるように、どうしたらいいかを考えることが大切だと思った。不公平を減らしていこう。
5/29	公平と不公平	自分が、強さで勝つには、自分自身を犠牲にすることも、必要だと感じた。最後は、あきらめないことが大切だと思った。
6/16	挫折から希望へ	

道徳のふりかえりカード

NO. 1

1年(5)組(19)番 氏名

月日	教材名	感想
4/26	さかなのなみだ	いじめは、やっとならぬことを考えたから、これから、自分でもいじめを差別をしない。そうすれば、みんなが考えにいて、いじめを減らすことができる。
5/10	愛情貯金をはじめませんか	あいさつの大切さなどがわかった。これからは、自分から、進んで、挨拶をあいさつをしていきたいと思います。
5/19	富士山から見た地球	みんなが公平になるように、どうしたらいいかを考えることが大切だと思った。不公平を減らしていこう。
5/29	公平と不公平	自分が、強さで勝つには、自分自身を犠牲にすることも、必要だと感じた。最後は、あきらめないことが大切だと思った。
6/16	挫折から希望へ	挫折は、やっとならぬことを考えたから、これから、自分でも挫折を差別をしない。そうすれば、みんなが考えにいて、挫折を減らすことができる。
6/30	花火に込めた平和への願い	

○ 会津柳津学園中学校
(1) ICTの活用
スクールタクト



「いきなりログアウト」した
ちを考えてみよう。



敏和のツッコミに笑えなかった「インターネット上では相手が見えないが、どんなことを気をつけなければならないだろうか。」

今日の学習を振り返ろう

自分の考え

あ、そうか！なるほど！
と開った和津の顔

自分の考え

あ、そうか！なるほど！
と開った和津の顔

※ それぞれのシートに自分の考えを打ち込み、それをクラスで共有するのに利用。

ジャムボード

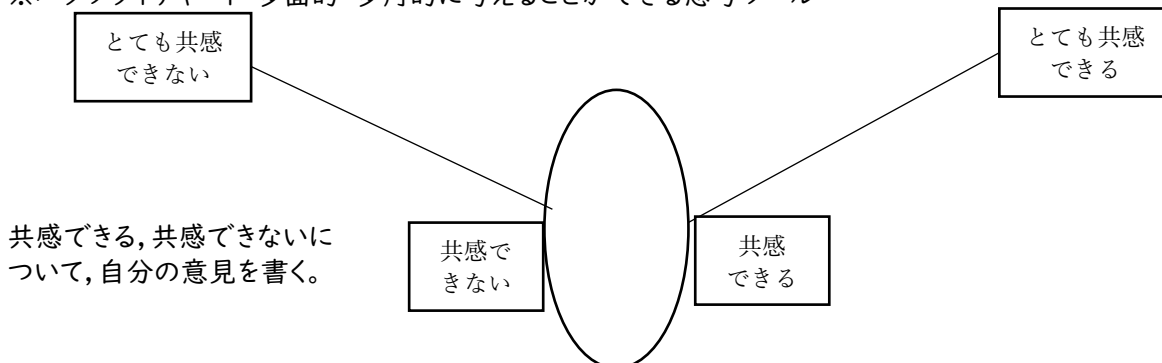
挫折（目的をもって続けてきたことが途中でだめになること）や失敗はしたい？
したくない？理由を含めて書こう！

したい	したくない	したくない
してもいい！ 挫折や失敗から 学ぶこともある。 すべてがう まくいきすぎて もつまらない。 挫折や失敗をして、 何かを得る ことができるから	なるべく、それらを経験 した方がいいし、そう なれたってことは、 それだけ一生懸命がんば ってきたってことだから。 それを取り戻え られたらさらに成長で きるから。 挫折をもししたら、 ぶつとやばいもの があり、その 後の人生に役立 つと思うから。 そういう経験を した方が、あと に生かせると思 うから。	成功したい から。怖い から。 そのあとが したくなく なるから。 立ち直れな いから。絶 対、後悔す るから。 やる気がな くなるから。
してもいい 挫折して得られ るものもある。 でも挫折してい る間がとっても辛 いから。 挫折して得られ るものがある。 でも挫折してい る間がとっても辛 いから。 挫折して得られ るものがある。 でも挫折してい る間がとっても辛 いから。	悲しいから。や る気を失うか ら。今までの頑 張りの結果が失 敗で終わるのは 悲しいから。 悲しいから。 やる気がな くなるから。 悲しいから。 やる気がな くなるから。	できることなら したくない。落ち 込むのが嫌だ から。 頑張ったこと が報われないのは 嫌だから。

※ 付箋に自分の考えを書き、
貼り付けることができる。
匿名なので、貼りやすい。
クラスで共有もできる。

(2) 思考ツールの活用

※ バタフライチャート 多面的・多角的に考えることができる思考ツール



(3) 授業参観での道徳

4月実施の授業参観で、全学年「道徳」を実施。保護者参加型の道徳を実施した。保護者からも意見を話していただくなどできて、積極的な参加が見られた。

(4) 全員道徳

本校は小規模校であるため、教科担任が全学年を指導している。そのため、全員道徳として、道徳の授業を実施したいと考えている。

校長先生、教頭先生は昨年度から、1年～3年のクラスで、道徳の授業を実施している。今年度、教務、学年主任、さらに担任が学年をローテーションして実施する予定である。多角的、多面的な評価をするという目的のもと、行う予定。